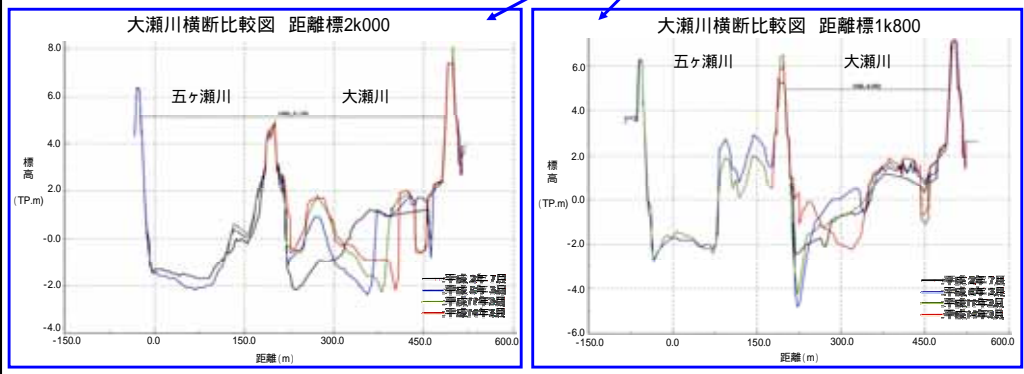
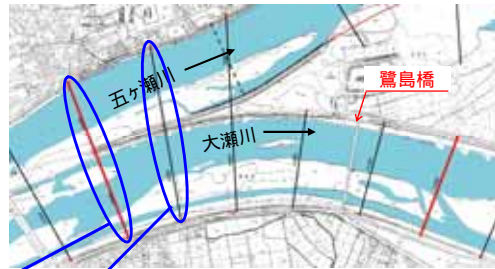


## 4. 大瀬川下流部の現状について

## 大瀬川延岡大橋下流の状況

大瀬川下流部は、近年土砂堆積が進行している箇所がある。  
この原因は、洪水時に上流から運ばれてきた土砂が流速の遅い箇所に堆積しているのが原因と考えられます。



## 安賀多の瀬と潮位の関係

平成 元年 (平成 元年 10月 15日)

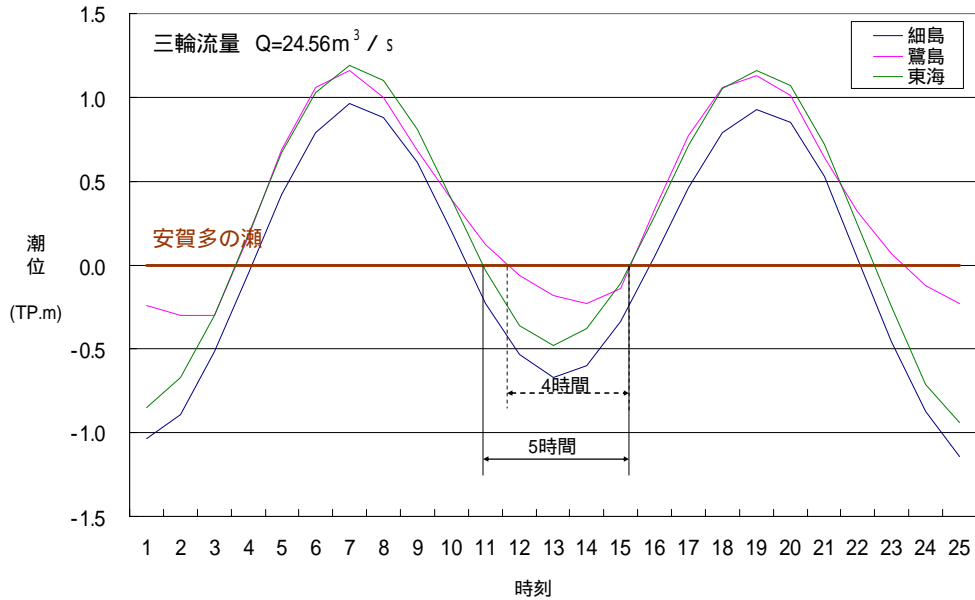
平成 6年 (平成 5年 11月 1日)

平成 10年 (平成 10年 11月 5日)

平成 15年 (平成 15年 10月 26日)

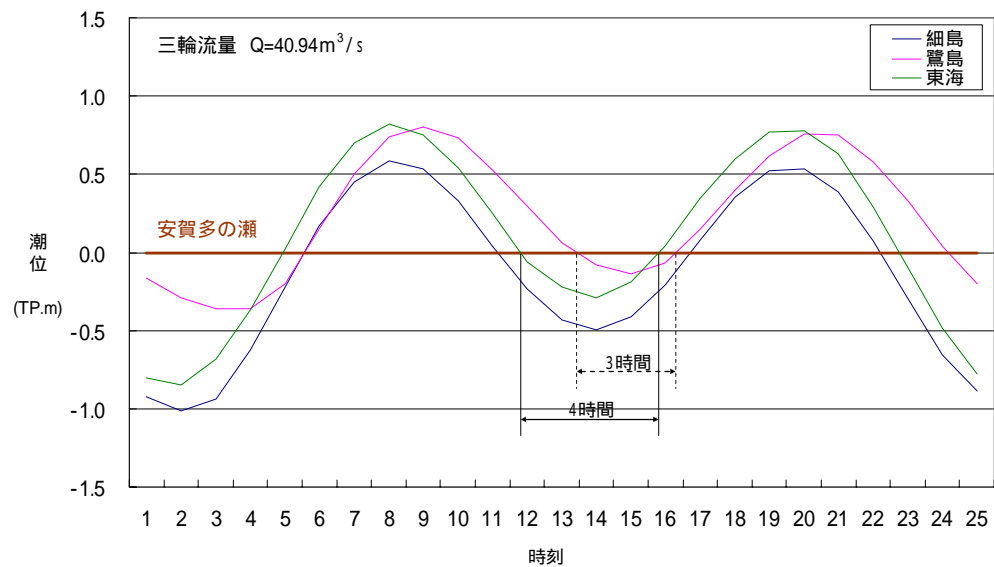
## 安賀多の瀬と潮位の関係 <平成元年10月15日>

試験隔流実施前



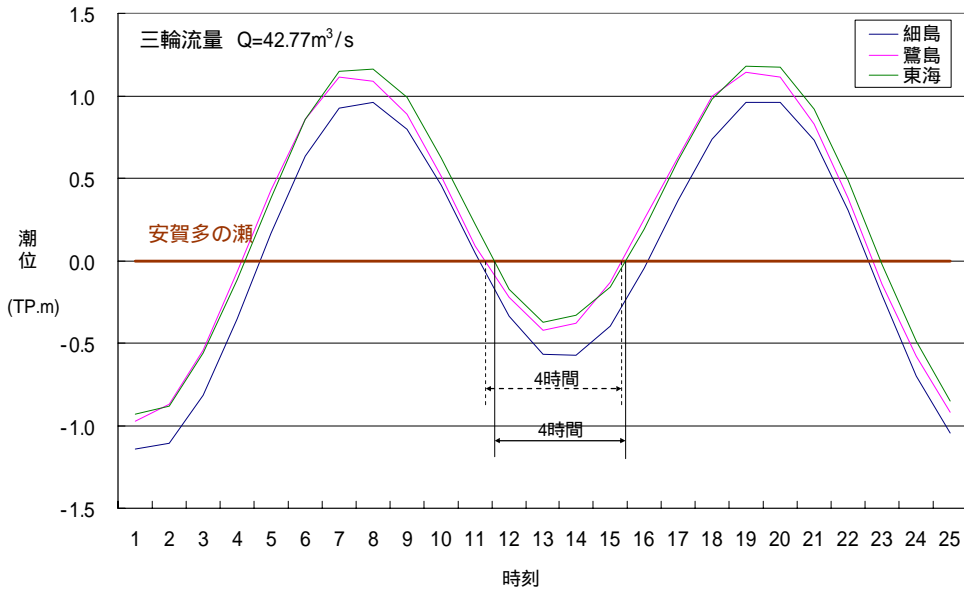
## 安賀多の瀬と潮位の関係 <平成5年11月1日>

試験隔流実施前,平成5年出水後



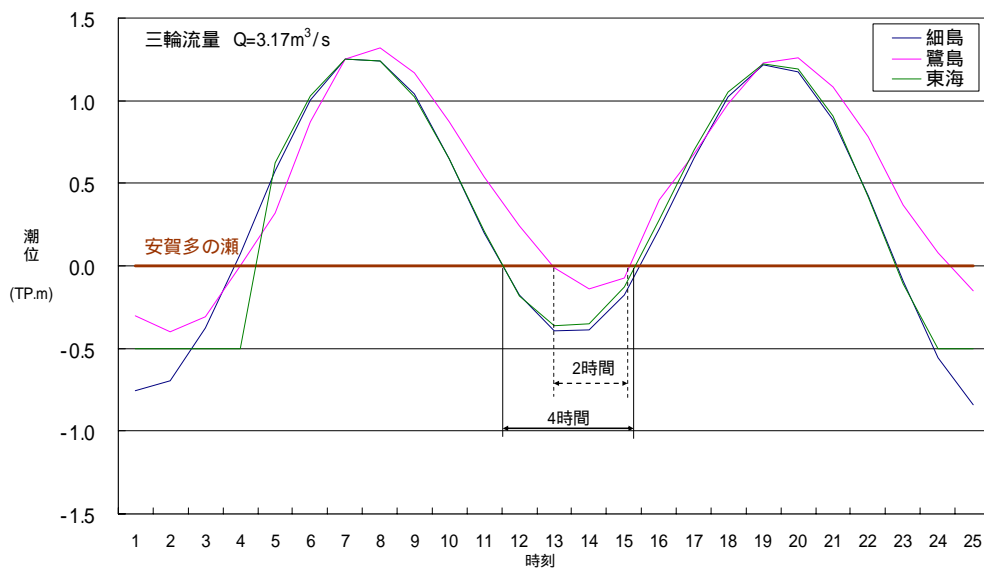
## 安賀多の瀬と潮位の関係 <平成10年11月5日>

試験隔流実施後,平成9年出水後

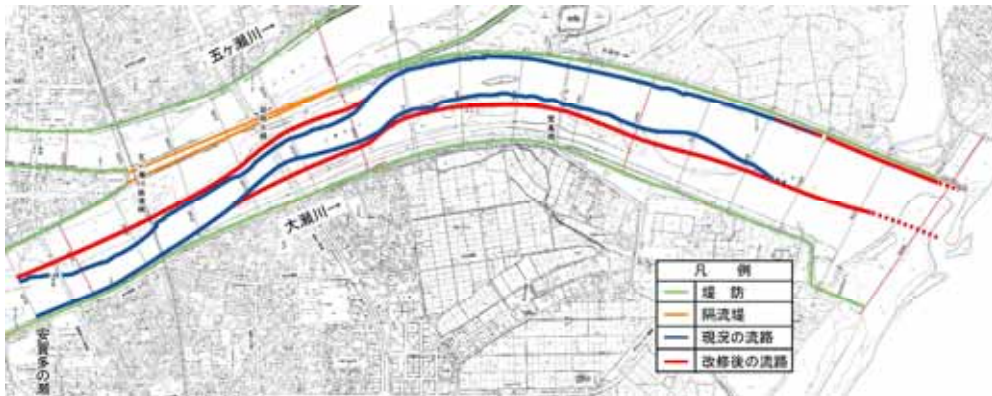


## 安賀多の瀬と潮位の関係 <平成15年10月26日大潮>

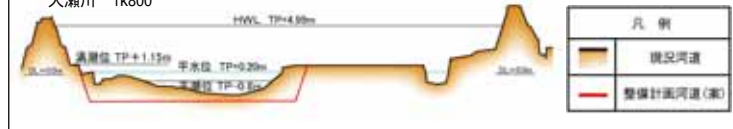
現況



## 大瀬川下流部 平常時の流路を考慮した掘削の工夫



代表横断面(イメージ)  
大瀬川 1k800



## 5.内水対策に関する事項

## 頻発する内水被害

五ヶ瀬川については、堤防整備の進捗により外水氾濫（河川水が堤内地に流れ込む洪水氾濫）の発生は減少してきましたが、内水による被害が頻発しています。

### 内水被害とは・・・

洪水時に本川（五ヶ瀬川）の水位が上昇し、支川等の排水が困難になって生じる湛水のことです。

## 近年の浸水被害

平成5年8月10日（台風7号）

河川氾濫、内水氾濫により延岡市では、床上浸水269戸、床下浸水379戸、田畑の冠水230haの被害

浸水区域図



古川町付近(4k300左岸)



古川町付近(4k800左岸)

## 近年の浸水被害

平成9年9月16日(台風19号)

河川氾濫、内水氾濫により延岡市では、  
床上浸水1148戸、床下浸水1047戸、  
田畑の冠水562haの被害



延岡大橋(2k400右岸)



延岡河川国道事務所前



小峰町付近(6k900付近)

浸水区域図



## 近年の浸水被害

平成16年8月30日(台風16号)

床上浸水37戸、床下浸水29戸  
田畑の冠水842.1haの被害

平成16年10月20日(台風23号)

床上浸水82戸、床下浸水247戸  
田畑の冠水107.5haの被害



台風16号 三須地区(6k600付近)



台風16号 延岡大橋(1k300付近)

H16.8.30(台風16号)

浸水区域図



H16.10.20(台風23号)

浸水区域図





## 床上浸水対策事業

松山・小峰地区の床上浸水被害を大幅に軽減します。

### 床上浸水対策特別緊急事業とは・・・

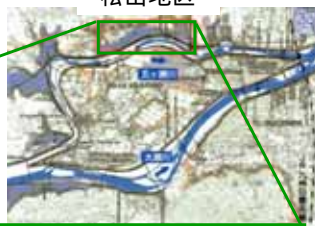
この事業は、床上浸水に見舞われる地区の中でも、過去にたびたび大きな被害に見舞われ緊急にその対策が急がれる地域を対象に、10年に1度降るかもしれない大雨による床上浸水被害を軽減し、人々の暮らしを守り、地域の発展のために行われる事業です。古川排水機場と小峰輪中堤は、「床上浸水対策特別緊急事業」として整備されます。

## 床上浸水対策事業

### 松山地区

対策・・・松山地区では、五ヶ瀬川と松山川の合流地点に排水機場を建設します。

松山地区



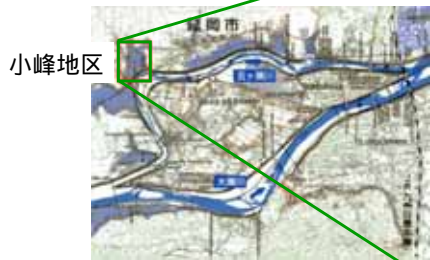
床上浸水対策事業



古川排水機場(松山地区)完成予想図

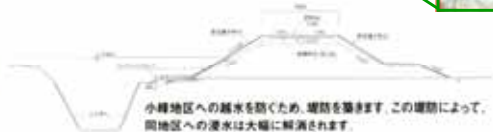
床上浸水対策事業

**小峰地区**  
 対策…小峰地区では、新たに堤防を築きます。



■諸元

小峰地区堤防	
完成予定年度	平成15年度
河川名	小峰川
総延長	約400m



## 6.住民意見の反映方法について

### 目的

流域全体を視野に入れた「五ヶ瀬川水系河川整備計画」の策定につきましては、新河川法の趣旨にのっとり、各界各分野の方々から幅広く意見を聞く住民参加を基本原則とし、策定する必要があります。

このため、よりよい川づくりを目指して、住民説明会、公聴会等により、より広く流域の皆様から五ヶ瀬川に対するご意見やご提案をいただき、その内容を反映しながら進めたいと考えております。

## 住民意見の反映手法の紹介

以下の手法がありますが、当委員会として、どの手法にすべきか考えていきたいと思ひます。

取得方法	内容	利点	問題点
直接聞き取り方法 (住民説明会)	五ヶ瀬川沿川(延岡市)にお住まいの方の意見を地区別に住民説明会を開催して直接聞き取る。	・直接話し合うことにより考え方等誤解が生じない。 ・住民の方の河川整備に対する関心、参加意識が湧く。	・人選・日程調整等必要
直接郵送方法 (アンケート調査)	延岡市内にお住まいの方の中から、無作為に人選した調査対象者にアンケート調査票を直接郵送し回答後返送してもらう。	・多数の方の意見を収集することが可能。	・アンケートの回答を統計処理するために多数の対象者が必要となり、発送・アンケート集計までの時間作業量が多大。 ・アンケートが択一式となり、実際の意見を反映しにくい。 ・アンケート結果を整備計画にどのように結び付けていくのか問題もある。
インターネット	延岡河川国道事務所のホームページにアンケート調査票、意見記入欄を掲載し直接回答してもらう。	・多数の方の意見を収集することが可能。	・ホームページの周知が必要。 ・インターネット使用可能者に限定される。 ・対象者が不特定多数となり、必ずしも流域住民の意見とはならない場合もある。

## 7. 質疑応答

## 8. 第6回流域委員会開催について

〔五ヶ瀬川の環境についての話題  
流域全体の連帯や課題について、委員の方々のご意見を頂く場としたいと考えています。〕